

## 元気にあそぼう!



富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



新体制がスタート 2  
8人が町の課題を問う 8  
おじゃまします 16

# 新体制がスタート

(常任委員会は平成28年4月25日から)

この度、議員の皆さまのご推挙をいただき、富士川町議会第4代議長・副議長の要職を賜りました。誠に身に余る光栄でありますとともに、職責の重大さを痛感しているところです。

地方自治は、町長と議員の二元代表制であり、議会の役割は行政の監視と政策の提言にあると考えます。議会も執行機関も、住民の福祉の向上と地域の発展のために活動しています。富士川町議会は、15人の議員の特徴を生かし、互いに十分議論し、住民の立場に立つた最善の方策を導き出し、常に住民に提案し続けることが必要になります。執行機関と競い合いながら政策を磨き合い、前向きな政策を提案することが、住民の皆さまの信頼を得る道だと考えます。

これからも、町民の皆さまに開かれた議会、信頼される議会、住民と共に歩む議会のさらなる推進を図っていきたく考えます。それには、議員一人ひとりが日々研鑽を重ね、資質の向上を図ることが大事です。

私たちは、議会の品位を保持し、言論の府としての議会が円滑に運営されるように、誠実に職責を全うする覚悟でございます。町民の皆さまの温かいご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



議長  
秋山 貢  
(4月13日就任)



副議長  
市川 淳子  
(4月13日就任)



議員議席が変わりました。よろしくお願ひします。

## ●教育厚生常任委員会



委員長 鮫田 洋平  
副委員長 小林有紀子  
委員 齊藤 欽也・市川 淳子・長澤 健  
秋山 勇・川口 正満

町民生活・福祉保健・子育て支援・文化ホール・教育などに関する議案

## ●総務産業建設常任委員会



委員長 井上 光三  
副委員長 深澤 公雄  
委員 齊藤 正行・小林 進・神田 智  
堀内 春美・青柳 光仁

政策秘書・管財・財務・税務・防災・選管・産業振興・土木整備・都市整備・会計・上下水道・農業委員会などに関する議案

## ●議会運営委員会

委員長 齊藤 正行  
副委員長 神田 智  
委員 井上 光三・市川 淳子・長澤 健  
鮫田 洋平

## ●富士川町監査委員

小林 進

## ●広報常任委員会



委員長 長澤 健  
副委員長 青柳 光仁  
委員 齊藤 正行・秋山 勇・川口 正満  
深澤 公雄

議会広報の編集・各常任委員会の調査・研究・町広報に関する事項

### ●議会改革特別委員会（全議員）

委員長 齊藤 正行  
副委員長 市川 淳子

### ●増穂商業高校の存続を考える特別委員会（全議員）

委員長 井上 光三  
副委員長 堀内 春美

### ●リニア対策特別委員会（全議員）

委員長 長澤 健  
副委員長 秋山 勇

### ●公共施設再配置調査研究特別委員会（全議員）

委員長 神田 智  
副委員長 深澤 公雄

### ●峡南広域行政組合議会

議長 小林 進  
計算センター・慈生園 神田 智  
総務・消防 井上 光三

### ●山梨県後期高齢者医療広域連合議会

委員 秋山 勇

### ●三郡衛生組合議会

議運 長澤 健・青柳 光仁  
委員 市川 淳子・深澤 公雄

### ●峡南医療センター企業団議会

議長・議運 齊藤 正行  
議運・監査委員 井上 光三  
議運 市川 淳子  
委員 神田 智・小林有紀子

### ●中巨摩地区広域事務組合議会

監査委員 齊藤 欽也  
議運 鮫田 洋平

## 峡南医療センター企業団貸付金 4億円 鰻沢口駅トイレ新設負担金 596万円

### 補正予算 4億2761万円

#### おもな質疑

#### 補正予算一般会計

**問** コミュニティ助成事業の申請は。ごとの申請になる。

**答** 毎年区長会で説明している。区

**問** 内容の審査は町で行うのか。

**答** 申込用紙の内容はチェックするが、そのまま県に申請し、決定される。

**問** 鰻沢口駅トイレ新設費用の内容は。

**答** 市川三郷町と半額ずつ負担。工事費用と委託料である。

**問** 峡南医療センター企業団貸付金の返済計画は。

**答** 短期貸し付けで年度内に返済してもらう。

**問** 運営資金ということだが、これ以上に不足となった時は。

**答** 市川三郷町と十分協議していく。

**問** 道徳教育研究推進事業委託金の内容は。

**答** 鰻沢小学校が指定を受けて道徳教育を行う。図書購入費も含め3年間の事業である。

**問** 実践的防災教育推進事業委託金の内容は。

**答** 増穂小学校と増穂中学校が指定を受け、防災教育を行う。緊急地震速報受信システム購入費も含まれている。

**問** 特産品開発アドバイザー謝礼の内容は。

**答** 特産のゆずなどを、生産から加工、販売、商品開発するまでのアドバイザーに支払う謝礼。

**問** ダンプ車両購入費が高額なようだが。

**答** 作業員が使用するダンプで、通常の2トンドンプに黄色と白の塗装をし、黄色の回転灯を装置するためである。



トイレが新設される鰻沢口駅

### 主な一般会計補正予算

補正後の予算総額 79億325万円

峡南医療センター企業団貸付金	4億円
かじかの湯管理運営事業補助	756万円
鰻沢口駅トイレ新設負担金	596万円
ダンプ車購入費	533万円
コミュニティ助成事業（小林区LED防犯灯 鰻沢北区放送設備）	430万円
旧町民会館管理業務	160万円
緊急地震速報受信システム購入費	58万円
その他	228万円

# (株)富士川決算報告

## 平成27年度 (株) 富士川損益計算書

売上高	4億3787万円	販売費・一般管理費	1億3588万円(ロ)
売上原価	2億8437万円	営業利益(イ)－(ロ)	1761万円①
売上総利益	1億5350万円(イ)		

営業外収益	
施設管理収益	781万円
多言語化対応補助金	437万円
その他	622万円
営業外収益合計	1840万円②
営業外費用	1546万円③

税引前純利益 (①+②-③) 2055万円

### おもな質疑

**問** 平成28年度予算の見通しの中で、塩の華の目標売上高が高いのは。  
**答** 大柳川溪谷へのバスツアー客を誘導するため、バス会社に営業している。また、音楽コンサートなど計画している。

### 条例制定

・富士川町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例制定

- ▼民間企業等が実施する東京23区から本社機能の移転を伴う特定業務施設の整備に伴う固定資産税率。
- ① 1年目 100分の0・14
  - ② 2年目 100分の0・35
  - ③ 3年目 100分の0・7



交流センター塩の華

### 人事

・人権擁護委員  
再任  
小池 茂氏 (長澤区)

新任  
平岩紀子氏 (眷米区)

・農業委員会委員

保坂 猛氏 (最勝寺)

功刀千秋氏 (天神中條)

杉田洋一氏 (大久保)

山形廣喜氏 (眷米)

深澤健次氏 (小林)

井上勇義氏 (長澤)

井上 茂氏 (大柗)

秋山英治氏 (青柳町)

大森一仁氏 (平林)

深澤 洋氏 (小室)

川口郁也氏 (中部)

堀口孝秋氏 (五開)

秋山和雄氏 (青柳町)

笠井千尋氏 (大柗)

・カラマツオ外恩賜林保護財産区管理会委員

望月親人氏

望月佳利氏

に伴うもの。

・富士川町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例改正

介護保険法の一部改正

### 条例改正

- ▼民間企業等が実施する前記以外から本社機能の移転および拡充を伴う特定業務施設の固定資産税率。
- ① 1年目 100分の0・14
  - ② 2年目 100分の0・47
  - ③ 3年目 100分の0・94

・富士川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例改正

介護保険法の一部改正

# 委員会レポート

## 総務産業建設常任委員会

委員会が所管する特別会計の現地視察を行った。

### (鹿島財産区)

**問** 財産区の総面積は。

**答** 総面積25万3690㎡。

### (カラマツオ他三十山恩賜林保護財産区)

**問** 財産区の総面積は。

**答** 十谷1万959畝、鳥屋48・8畝、柳川31・9畝。

### (箱原農業集落排水事業)

**問** 加入戸数は。

**答** 36戸。

### (農業飲雑用水施設)

**問** 加入戸数は。

**答** 梅久保5戸、日向町4戸、長知沢8戸、国見平10戸、天戸15戸。



農業飲雑用水施設視察

## 教育厚生常任委員会

### 学力フォローアップ 「そよ風教室」の状況は

#### (教育総務課)

**問** 先生の数と報酬は。

**答** 退職された教職員が小学校クラス10人(増小8人、減小2人)、中学生クラスに5人、大学生講師4人がローテーションで行っている。

報酬は退職された教職員は時給1500円、大学生は時給1000円。

**問** 今年度、中学生の教室が合同になった理由は。

**答** 先生方が減りローテーションの関係で1カ所での開催となった。場所は教育文化会館3階である。常任委員会では増穂地区、鰍沢地区の2カ所で開催できるよう要望した。

**問** 利用している子どもたちの家庭の状況は。

**答** 把握していない。今後調査していく。

### 町内小中学校就学 援助費支給状況は

**問** 貧困世帯の把握は。

**答** 把握していない。学校現場で心配な家庭があれば対応していく。貧困世帯の報告があった場合、学校、子育て支援課、福祉保健課と連携を取り対応していく。

#### 【現地視察】

(福祉保健課・社会福祉協議会委託事業)

- 1、生きがい活動支援通所事業
- 2、配食サービス事業委託(地域支援・任意事業)
- 3、小規模多機能型事業委託



社協委託事業現地視察

# 議会だよりに皆様の声を！

## — 議会広報モニター8人を委嘱 —

議会広報常任委員会では7月4日、議会広報モニターの委嘱式を行いました。  
委嘱期間は、議会だより第28号（平成29年3月定例会）までとなります。  
今後8人のモニターの皆さまには、議会だよりが読みやすく、分かりやすい誌面になるようご意見をいただきます。



神田 雅也さん



原田 春美さん



井上 智子さん



中澤 勝春さん



安部 高祥さん



丸山 猛士さん



村松 優子さん



山口 博子さん

## 議会のおもな活動日誌

- |    |     |                         |
|----|-----|-------------------------|
| 4月 | 25日 | 山梨県市町村長・議長会議            |
|    | 26日 | 峡南地区植樹祭                 |
|    | 28日 | 議会運営委員会                 |
| 5月 | 9日  | 議会運営委員会、全員協議会、議会改革特別委員会 |
|    | 10日 | 議会基本条例制定推進部会            |
|    | 13日 | [町村議会議長会]広報編集委員長会議      |
|    | 19日 | 第一回町村議会議長会議             |
|    | 23日 | [町村議会議長会]議会運営委員長会議      |
|    | 25日 | 議会運営委員会、全員協議会           |
|    | 26日 | 自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会     |
|    | 26日 | 広報常任委員会                 |
|    | 27日 | 議会運営委員会                 |
|    | 30日 | 町村議会議長・副議長研修会（～31日）     |
| 6月 | 3日  | 議会基本条例制定推進部会            |

一般質問

# まちの課題を問う

**問** 町道青柳32号線は本当に必要なのか



堀内春美 議員

**答** 街中へのアクセス道路として必要



道路新設予定地(増穂インター出口)

**問** 町道青柳32号線は、商業施設を建設するために必要な道路だと聞いていたが、その計画がなくなった今、この道路を建設する目的と必要性はなにか。  
**都市整備課長** 増穂ICを町の玄関口として、企業の進出誘導や街中へのアクセス道路、甲西道路と旧国道52号線とを結ぶ道路網が必要と考え計画した。  
**問** 企業誘致がなくなったと聞いているがいつか。  
**産業振興課長** 27年3月に白紙に戻った。

**問** 今後の企業誘致は。  
**産業振興課長** 道路計画が決まり次第、積極的に企業誘致に取り組んでいきたいと考えている。  
**問** この道路建設により転居を余儀なくされる住民への対応はどう考えているのか。  
**都市整備課長** 地権者の方には本人の意向を伺いながら誠意をもって対応していく。  
**問** 転居対象の住民は大変困惑し反対している。この人たちがこの町に愛想をつかし、他町へ転居したら町の人口は減少する。どう考えているか。  
**都市整備課長** 過日の説明会でも反対の意見があった。計画案ができたら再度説明会を開き丁寧に説明していく。

## 商店街の活性化は

**問** フォレストモールの進出により町の経済効果は。  
**産業振興課長** 固定資産税、法人住民税ほか合計で2900万円程度の増収となっている。  
**問** 大型商業施設が賑わう一方で、旧国道52号線沿いの地域商店街は衰退傾向にあるが、商店街を活性化させる対策については。  
**産業振興課長** 商工事業者へ、設備投資にかかる利子補給制度や事業起業支援補助制度も実施して、商店街の活性化につなげていきたいと考えている。  
**問** フォレストモールが賑わうだけではなく、個人商店が活性化しなければ成功したとはいえない。商工会の会議に町からは誰が出席しているのか。  
**町長** 私も出席しているが、産業振興課を中心にできる限り出席している。  
**問** 個人商店にもっと目を向けて活性化できないか。  
**町長** 消費者ニーズがどこにあるかを商工会と商店がしっかり把握しながら、商工会で良い計画を立ててくれれば町でも支援していく。

### 【他の質問事項】

・地震等災害について

# 問 高齢者の生活支援は

## 答 地域福祉計画を策定する

川口正満 議員



**問** 老々介護や独居世帯が増えている。高齢者の福祉サービスの実情は。

**福祉保健課長** 社会福祉士、介護支援専門員、栄養士等の専門家の確保・育成をはじめ、社会福祉協議会と連携したボランティア活動における啓発に取り組んでいる。地区組織の育成では、民生委員、福祉推進員などの協力や、郵便局や生協と協定して地域見守りの強化など、高齢者支援における「近助・共助」の推進に取り組んでいる。ボランティア活動の充実では、介護体験、交流会の開催などを行っている。

### 高齢者の健康教室（平成27年度の実績）

運動教室、口腔教室、認知症予防教室	101回
各地区で実施されるいきいきサロンなど	17地区で35回
高齢者を対象としたいきいき筋力教室	24箇所502回 延べ4,415人

### 高齢者の健康教室は

**問** 交流して笑う、友人を誘うなど余生を楽しく過ごせるように、世代間の交流などのふれあいや支えあいの活動の支援策の検討は。

**福祉保健課長** サロンなどの活動をボランティア活動している例もある。生活支

援の中には、男性が向いている支援があるため、男性ボランティアを育成するよう募集や、研修を進めていきたい。

**問** 健康教室の実情は。

**福祉保健課長** 介護予防を目的として、介護予防サポーターを中心に自主的な教室を行う地区もある。自主活動、参加の推進、夜間実施地区へ、地区を越えての



元気に100歳体操

参加といったより参加しやすき運営が必要と考えている。

**問** 買い物弱者について、実態を把握しているか。

**福祉保健課長** 生活援助員の派遣、公共乗り物利用を促し、買い物を含む生活支援の充実に取り組んでいく。地域福祉計画を今年度策定するので、アンケートをとって把握していく。

**移住者を受け入れる促進策は**

**問** 移住に関心があり問い合わせが寄せられた例で検討すべき課題は。

**政策秘書課長** 移住者のニーズに合った空家物件の確保が課題。

**問** この町に20年前から移住された方々が多い。その方々の意見を聴き、まちづくりに参加していただくような機会を企画できないか。

**政策秘書課長** これまで移住された方の意見を聴いて、次の事業の参考にしていきたい。

# 問 貸付金が倍の4億円になった理由は

## 答 3億7千万円の資金が不足する

齊藤欣也 議員



**問** 峡南医療センター企業団の赤字は、2年間で累積10億円超となった。昨年の短期貸付2億1500万円の倍近い貸付を行う理由は。  
**町長** 昨年の貸付金は企業団が金融機関から借り入れ、町に返済された。その返済に企業団は医療収入を当てるため、運営費が不足する。また、新たに本年度は3億7千万円の資金不足が見込まれているためである。

**問** 3月議会で企業団に改善計画の詳細な資料提供を要請したが、いまだ提出されていない。非常に不誠実である。町はわずか1700万円の給食費半額負担の予算面でさえ大変な思いをしている。企業団は何を考えているのかと憤りを覚える。改善計画では29年度黒字化となっているが、それは間違いなのか。  
**町長** 計画では5年間で黒字になるように設定してあり、その通りになるよう改善努力をし、言いづらいことも言っていない。安定した8億円があればやり繰りできると言ったが、それは今年度に限ってということか。  
**町長** 年間を通してということである。しばらくの間、短期貸付を繰り返していく。新聞では3億3千万円の赤字と出ているが、今すぐ使わない職員の退職手当の基金があるので、それを活用すれば27年単年度決算は1億円ぐらいの赤字と思われる。借り入れをできるだけ少なくしていく。

**問** 退職引当金2億5千万円は、隠れた借金である。  
**町長** 4億円の貸付金はどこから捻出するのか。  
**町長** 町の基金を運用し貸し付けていく。  
**問** 5年以内に自立した病院になるには、単年度黒字化を積み重ねることが大前提である。その改善策は。  
**町長** 第2期中期経営計画にあるとおり、徹底した医療分化を図ることである。  
**問** 町が破綻すれば病院どころではなくなる。来年3月末の経営状況によつては、大胆な見直しが必要と思うが、



老朽化する市川三郷病院

その決意は。  
**町長** 背丈に応じた貸し付けをしている。中期経営計画に基づいて努力している。もうしばらく様子を見ながら検討する。

### 新図書館建設は

**問** 町民図書館併設予定の合同庁舎建設の進ちよく状況は。  
**町長** 8月末の概算要求で採択されるよう、国の関係省庁と協議をしている。



早く欲しい文化拠点図書館

# 問 若者との協働によるまちづくりは

## 答 幅広い意見聴取が課題

小林有紀子 議員



**問** 人口減少対策として、若者や子育て世代の人口の流入や、定住促進に対する今年度の具体的な方針と施策は。

**政策秘書課長** 定住奨励金補助、中山間地域等における住宅用地取得費補助、空き家改修補助制度を整備し、併せて保育料の軽減、子ども医療費助成、小中学校給食費補助なども整備した。今年度は、首都圏での個別相談会やセミナーを利用した情報発信を考えている。

**問** 全国の自治体では、既に人口減少問題に立ち向かうためのまちづくりに、新

たな視点と柔軟な発想で、若者の意見を積極的にまちづくりに生かしていく取り組みが広がっている。若者との協働によるまちづくりの考えは。

**町長** 協働によるまちづくりを進める上で、より多くの方々から意見を聞く広聴が非常に重要。町もいろいろな方策をとりながら、特



全国から若者が集う小布施町

に若い人たち、あるいは女性の意見を反映していきたいと思っています。

### 「精神対話士」の活用は

**問** 近年、精神疾患、ひきこもりや不登校、児童虐待やDVなど、多種多様な心の病で悩んでいる人が増加している。対話を通じて心

のケアサポートをする専門職である「精神対話士」を本町でも派遣要請し、学校での相談受付や町民が継続して利用できる無料相談会を行う考えは。

**福祉保健課長** 小中学校にはスクールカウンセラーを配置し、住民に対しては臨床心理士による「心の相談会」や発達心理士による「子育て支援・心の相談」を実施するなどの活動を行っているので、派遣要請は考えていない。

**問** 温かな対話を通して心の重みを軽くし、生きる希望を見出してあげることが、薬以上の劇的な改善につながると思われる。「精神対話士」の資格取得を希望する職員に補助をする考えは。

**福祉保健課長** 保健師など資格を有する職員を中心に相談業務を行い、住民サービスの向上に繋がるよう取り組んでいるので、資格取得のための講座受講に対し、補助をする考えはない。

問

# BCP〈業務継続計画〉の策定は

## 答 災害を想定し策定は必要

深澤 公雄 議員



**問** 災害発生時に、本庁舎が使用できない場合の代替施設は。

**防災課長** 現在、予備施設は地域健康福祉センター、保健福祉支援センター、ますほ文化ホール、新町民会館を考えている。代替施設は、被災状況から判断する。

### ボランティアの受け入れは

**問** 災害時のボランティアの受け入れ体制のマニュアルはあるのか。

**福祉保健課長** 「災害救援ボランティア活動基本マニユ

アル」を活用し、迅速な受入に繋げていく。

### 災害時の学校施設の利用計画は

**問** 小中学校が避難所となることも想定されるが、学校施設の利用計画は。

**防災課長** 各学校において組織体制、避難所運営、職員の役割分担などを定めた計画書を策定しており、避難者の安全・安心の確保と円滑な避難所運営の体制を整えている。

### 迅速な罹災証明書交付は

**問** 迅速に被害状況を調査し、罹災証明書を交付するためマニュアルは。

**税務課長** 証明書は内閣府が定めた「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」に基づき認定し発行する。

また、土地や家屋の専門知識を有する土地家屋調査士の団体と「災害時における被害家屋状況調査に関する協定書」を締結してあるが、

### BCPPの策定は

**問** 急きょ職員を動員する事態が発生した場合も想定し、災害発生時における被害認定調査や罹災証明書の申請から発行までの流れを図式化した事務処理要領を作成する。

**問** どんな緊急事態に遭遇した場合でも、まず損害を最小限に食い止め、また、行政業務の継続あるいは早



地震調査委員会資料

期復旧を可能にするため、緊急時における業務継続のための方法、手段などをあらかじめ決めておくBCP（業務継続計画）が必要と考えるが。

**財務課長** 富士川町地域防災計画において危機管理体制を整えているが、今後大規模災害を想定し行政機能を的確に継続するため、さらに一歩進んだ計画であるBCPの策定は必要と考える。

# 問 新ますほ児童センターの建設地は

## 答 最勝寺地内を検討している

神田 智議員



**問** 新ますほ児童センターを現在地付近に建設すると、遠くて危険との意見があるが、上平（巻米北部）、竹重（小林北部）の子どもたちは、毎日2 km以上を集団で小学校に通っており、現在地付近への建設は毎日の通学路から計ると3分の1で決して遠くはない。車も少なく、リニア工事についても短期間で、その間はJR東海が安全確保するので危険はない。現在地付近が遠くて危険と考えるか。

**子育て支援課長** 指導員と学校との連携を密にし、安全対策を行っており事故は

ない。リニア工事についても、JR東海が万全を期すとしており、町は現在地付近が危険で遠いとは考えていない。

**問** 新ますほ児童センターの建設規模は。

**子育て支援課長** 最勝寺地内に当初計画と同じ1200人規模の施設を検討している。

**問** なぜ、最勝寺に2つ作らなければならないのか。

**町長** 昨年度、整備検討委



移転する「ますほ児童センター」

員会を立ち上げた。町では小林地内を候補地として提案をしたが、委員会では増穂小学校近くで、南児童クラブとの統合も考えて検討するようにとの意見をいただいた。200人規模では、建設費もかさみ、将来の児童利用者数を推計する中で、南児童クラブも併用して、1200人規模の施設を検討している。

**問** 地域防災計画では、児童センター、体育館は、巻米、小林地区の避難所に指定されているが。

**防災課長** 公共施設再配置計画の進展などを注視する中で見直しを行い、避難所の確保に努めたい。

**問** 地域のバランスは。

**町長** 地域バランスは非常に大切だと考えている。今後進める大きな事業を具体化する中で考えていきたい。

### 森林環境税による巻米北山整備は

**問** 22町歩の巻米北山民有林の整備進ちょく状況は。

**産業振興課長** 平成27年から5年計画で、国庫補助金と森林環境税を原資として、荒廃森再生事業、里山再生事業、広葉樹の森づくり推進事業を行っている。27年度は2・7鈔を整備、28年度は3鈔、その後は事業内容を検討し、間伐・除伐・侵入竹の除去・広葉樹の造林・作業道の開設を実施していく。

# 問 特色ある保育を

## 答 保育主任会議で検討し実施している

青柳光仁 議員



**問** 町立保育所の保育理念は「子育て支援課長」一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され地域に愛される保育所を目指す」を保育理念とし、「健康で明るい子」「自己主張のできる子」「仲間を大切にすめる子」「終わりまでがんばれる子」「美しいものに感動する子」の5つを保育目標としている。

**問** 行事等の運営は統一しているのか。

**子育て支援課長** 入所式や運動会、お遊戯発表会などは統一して行っている。一方、

健康づくり、野菜を育てる食育、絵本に親しむ図書館利用など特色ある独自保育も実施。保育所が行う各種行事については毎月の主任会議で検討している。

**問** 少子化によって保育所行事に町民バスが借りられないケースが出てきている。今後の行事運営と、町のバス利用規則改正や運用配慮ができないか。

**子育て支援課長** 町民バス規定により利用している。児童数が減少傾向なので保護者の意見も聞き、行事内容の変更も必要と考える。

**管財課長** 町民バスは最低乗車人員を20人以上と規定している。規定の改正は考えていないが、利用状況を見ながら柔軟な対応ができればと考えている。

### 峡南医療センターへの財政支援

**問** 短期貸付4億円の申請はいつあったのか。

**福祉保健課長** 補正予算が議決されていないので貸付

申請はまだされていない。

**問** 申請がない中で先に4億円を貸すということに対しての考えは。

**財務課長** 両町の幹事会や開設者会議が開かれ、27年度決算見込みや28年度の資金繰りの説明を受け、企業団から財政支援の依頼文を受領し、今回補正予算に計上した。

**問** 財政支援や次善の策について町長の方針と考えるは。

### デマンドバスの検討は

**問** 運行時間の検討や定時バスの増便検討は。

**政策秘書課長** 今後利用者ニーズを把握し、増便や時刻表の見直しも考える。



富士川町の未来へ飛ぶ

# 問 更なるデマンド交通の有効活用を

## 答 多くの町民に周知する

市川 淳子 議員

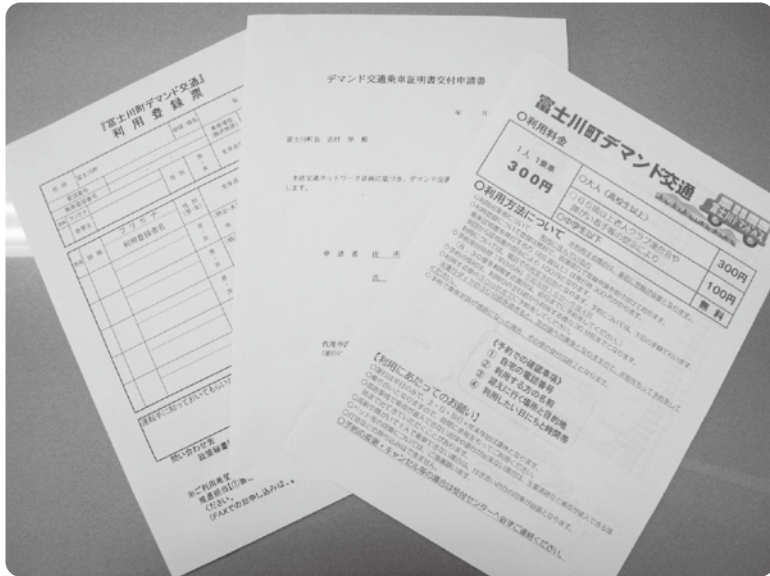


**問** 現在運行されているデマンド交通の登録者の状況は。  
**政策秘書課長** 旧増穂地区で1401人(昨年比89人増)、旧鵜沢地区で430人(昨年比35人増)。全体の地域別では中山間地域が630人、その他が1201人。年齢別では20歳以下が179人で全体の約1割、70歳以上が1116人で6割を占めている。

**問** 登録している人たちの利用状況と評価は。  
**政策秘書課長** 利用状況は、平成28年4月の実績で1日平均78人。今年2月のアンケート調査によると、通院

や買い物での利用が多く、利便性の質問では「非常に便利」「便利」と回答した利用者が90・8%という結果であった。今後もアンケート調査や聞き取りを行い、充実した運行体系を図っていく。

**問** 最近、閉店したスーパーを利用していた近所のお年寄りがとても不便を感じ



出張登録申請の検討を

ている。デマンド交通システムは、まだまだ知れ渡っていない。もっと周知すべきと考えるがどうか。  
**政策秘書課長** 利用者の9割以上の方々から、非常に便利だという評価をいただいたが、いかに広範囲の町民に浸透させていくか、今後考えていかなければならない。

**問** 人は年々歳を重ねていくので、対象者は常に変化し、予備軍は大勢いる。この町にデマンド交通を導入した町長として、現状をどのように評価しているか。  
**町長** デマンド交通は、県下でもこの地域がいち早く取り入れたと認識している。中でも富士川町のデマンド交通システムは、フルデマンドにできるだけ近い形で、足の悪い方など、家の近くまで行って送迎するという、きめ細かなデマンド交通だと思っている。大勢の方々が利用していただけるような周知方法を図っていきたい。

**問** きめ細かな特徴をもったこの町のデマンド交通を、本来に必要な人が、必要な時に、きちんと使えるようにしていくことが大切である。周知方法として、「出張手続き窓口」を考えたかどうか。  
**政策秘書課長** 高齢者に対して機会をいくつか見つけ、説明会をやっていく。それと同時にそのまま申請ができる方法など検討していく。



# 町民の活動を訪ねて おじゃまします

## ボディ美☆メイクレッスンを取材しました

取材日：6月9日 長澤議員

今回の議会だよりから連載する「おじゃまします」記念すべき第1回は、「ボディ美☆メイクレッスン」の取材をしに、会場の保健支援センターにおじゃましました。

この教室は、生活習慣病の予防に効果が期待される運動習慣を身につけてもらうきっかけにと、町民を対象に町が行っている健康教室のひとつです。

この日は第1回目で、ストレッチを中心とした体幹を鍛える運動を、8人の女性参加者が講師の指導のもと楽しそうに実践していました。

道具は使わず、タオル1枚でできる簡単なストレッチですが、講師の話によると続けることで体の歪みや正しい姿勢が身につき、腰痛などの改善にも役立つとのことでした。

私も体験しましたが、気付かなかった体の歪みが分かり、ストレッチによる少々の痛みがあるも

の、後には気持ち良さが残りました。

講師からは、普段の歩き方のアドバイスをもらうことができ、改めて普段の行動を振り返るよい機会となりました。

参加者の声を聞いてみました。



### 参加者の声

- 議員** この講座に参加したきっかけは？
- 参加者** 健康な体づくりのため。
- 議員** 他に日常で気を付けていることは？
- 参加者** 今は特にない。これからは眠る前に今日習ったストレッチをして、健康に気を付けたい。
- 講師** このストレッチはわざわざするのではなく、お風呂から出てタオルで体を拭くついでにやってみてほしい。
- 議員** 次回以降のこのレッスンに参加しますか？
- 参加者** もちろん参加する。
- 議員** どんな町になればいいと思いますか？
- 参加者** みんなが笑顔になれる町がいい。



今回は女性ばかりの参加でしたが男性も参加してみてもいかがでしょうか。

次回の「ボディ美☆メイクレッスン」の開催日は

8月4日（木）午後7時～8時半

会場：保健福祉支援センター

お問い合わせ・参加申込み：福祉保健課 22-7207

議員も体験しました



皆さんの活動を突撃取材します

これからも情報をお寄せください！

広報常任委員会

委員長 長澤 健

副委員長 青柳 光仁

委員 齊藤 正行・秋山 勇

川口 正満・深澤 公雄